

## [075] 史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2333995>

---

出版情報 : 史淵. 75, 1958-03-20. Faculty of Literature, Kyushu University  
バージョン :  
権利関係 :

# 彙報

## 史学懇話会

第七九回 二月六日(木) 於大会議室

東・西両洋史の接壤点 早稻田大学教授 松田 寿男

臨時講議に来講中の早大松田先生の歓迎会を開催し、席上表記の御講演を拝聴した。三國志に引く魏略の、柳・巖・奄蔡國の記事の批判を通じて黒海・カスピ海周辺及びウラル方面における絹貿易・毛皮貿易ルートの交錯と、東・西古代史家の地理的知識の交差点を論じられた。

## 国史学科の動向

### 竹内理三教授朝日文化賞受賞

竹内理三教授は學生の大業である平安遺文古文書編全八巻の完結により朝日文化賞を受賞された。受賞を祝し一月廿七日大会議室(學生による)、二月一日永豊泰(卒業生による)において祝賀会を行ったが、卒業生が遠くは山口、熊本からも馳せ参じ、共に盛会であつた。

### 九州史学第六号、第七号発刊

九州史学第六号、第七号が発刊された。題目及び執筆者は次の通りである。

六号

筑前確井封条里復原考

鏡山 猛

惣領制の解体と鎌倉幕府

瀬野精一郎

宇佐彌勒神宮寺成立の背景

小田富士雄

―古代宇佐氏の動向と初期仏教―

鳴崎 丞

加賀藩の林政について

森山恒雄

郷村制と地方知行制の關係

―肥後藩に於ける地方知行政策を中心として―

豊後國莊園分布圖、肥後國莊園分布圖

竹内理三

七号

日本仏教史の時代区分に就いて

國雜掌について

田村圓澄

圓仁小論

原田重

―特にその念仏をめぐつて―

藤井 晃

領主制の形成過程

後明榮次

―肥前國戸八浦地頭深堀氏の場合―

史料紹介

福岡市箱崎八幡宮所藏

「御油座文書写」

川添昭二

「宮崎神宮文書」

竹内理三

「石燈籠銘文」

日向、薩摩、大隅國莊園分布圖

卒業論文構想発表会

十一月七日

近世における藩國境の研究

諸石信義

赤穂浪士の忠義

花田陽一

古代地方豪族の中央進出

山内幸子

—和氣氏の場合—

引き續き進學生歓迎會を三畏閣において行つたが、進學生の氏名及び出身高校は次の通りである。

石橋宏（福高）、大藪善朗（福岡）、岡藤良敬（明善高）、平山昌宏（福高）、山岡六郎（中津北）、山本正己（宗像高）

◎大学院卒業論文発表会

二月七日

中世莊園の基礎構造

—特に新見、大忍兩庄の名構造を中心として—

正木喜三郎

近世後期における絶對主義的政治論について

小崎英達

引き續き三畏閣において本年度卒業生の予餞會を行つた。

◎思想史研究会

第八回 十二月廿三日

天武朝の仏教

第九回 二月二日

石母田正著「平家物語」合評會

東洋史学科の動向

第五十四回研究会 十月十三日

占田・課田制について

草野靖

第五十五回 研究会 十月三十日

南宋建國期に於ける商人の活躍と武將

山内正博

新刊

東洋史學 第十八輯（十二月）

兩税法以前に於ける唐代の差科

糧—付卷—

松永雅生

宋史食貨志訳註（塩上）

卒業論文題目

大学院修士過程

朱元璋軍團の研究

—江淮集團における覇權の確立について—

學部

需給上より見たる金代の銀

清太祖如爾哈齊の生涯

—清朝勃興初期に關する一考察—

吉田早苗

西洋史学科の動向

人事 三十二年度西洋史學科專攻學生として、鹿島道春、末弘屯

川崎滋彦、川瀬啓義、漢孝三郎、河野春夫、高野宏、福田學、本

間宏子、宮島康一、村下修、山北和禮、吉尾雅子君を迎えた。な

お、十月二十六日午後一時より、大會議室にて進學生諸君の歓迎

會を行つた。

原口仁

高橋謙輔

平野宗之

西洋史研究会

第七十回例会 十一月十六日

パンクラトワ・十九世紀七十～八十年代のロシア労働者間の社会主義思想の宣伝 (Iz Istorii Sozialno-Politicheskikh Idei, M. 1955) — 紹介 倉崎 繁

第七十一回例会 十一月三十日

H. Wish, *Alteged and the Progressive Tradition* (Am. Hist. Rev., 1940-41, 46) — 紹介 諸熊和俊

第七十二回例会 十二月七日

十一世紀後半フランスにおける聖職叙任権斗争—Yves de Chartres の立場をめぐつて 河井田研朗

第七十三回例会 十二月十四日

キセリヨフ伯の國有地農民改革 (1837—1841) 大畑 勝

第七十四回例会 十二月二十一日

三宅正樹・モンテスキューの政治思想—紹介と批判 生熊来吉

第七十五回例会 一月十八日

テクノロジ―と民主主義 (1800—1860) 安武秀岳

第七十六回例会 一月二十五日

レーニンの世界革命論とスターリンの一國社会主義論 西島有厚

西洋史学論集 第四輯三月上旬刊行予定。論文題目は次の如し。

人民党運動とニグロ

南露同盟の思想—イーチエンベルグ批判—

モダーニズムにおける聖書批判とその影響

鹿島邦子

倉崎 繁

伊岐須清

九州史学会寄贈交換圖書目錄

一橋論叢	十月号	一橋学会	人文研究	八卷 八号	大阪市立大
〃	十一月号	〃	〃	九号	〃
〃	十二月号	〃	〃	十号	〃
〃	〃	〃	〃	十一号	〃
カア メ ナリ	十月号	米国大使館 文化交流局	人文地理	九卷 四号	人文地理学会
〃	二月号	〃	〃	六号	〃
〃	〃	〃	〃	五号	〃
〃	〃	〃	〃	四号	〃
〃	〃	〃	〃	六号	〃
〃	〃	〃	〃	五号	〃
〃	〃	〃	〃	四号	〃
〃	〃	〃	〃	五号	〃
〃	〃	〃	〃	六号	〃
〃	〃	〃	〃	七号	〃
〃	〃	〃	〃	八号	〃
〃	〃	〃	〃	九号	〃
〃	〃	〃	〃	十号	〃
〃	〃	〃	〃	十一号	〃
〃	〃	〃	〃	十二号	〃
〃	〃	〃	〃	十三号	〃
〃	〃	〃	〃	十四号	〃
〃	〃	〃	〃	十五号	〃
〃	〃	〃	〃	十六号	〃
〃	〃	〃	〃	十七号	〃
〃	〃	〃	〃	十八号	〃
〃	〃	〃	〃	十九号	〃
〃	〃	〃	〃	二十号	〃
〃	〃	〃	〃	二十一号	〃
〃	〃	〃	〃	二十二号	〃
〃	〃	〃	〃	二十三号	〃
〃	〃	〃	〃	二十四号	〃
〃	〃	〃	〃	二十五号	〃
〃	〃	〃	〃	二十六号	〃
〃	〃	〃	〃	二十七号	〃
〃	〃	〃	〃	二十八号	〃
〃	〃	〃	〃	二十九号	〃
〃	〃	〃	〃	三十号	〃
〃	〃	〃	〃	三十一号	〃
〃	〃	〃	〃	三十二号	〃
〃	〃	〃	〃	三十三号	〃
〃	〃	〃	〃	三十四号	〃
〃	〃	〃	〃	三十五号	〃
〃	〃	〃	〃	三十六号	〃
〃	〃	〃	〃	三十七号	〃
〃	〃	〃	〃	三十八号	〃
〃	〃	〃	〃	三十九号	〃
〃	〃	〃	〃	四十号	〃
〃	〃	〃	〃	四十一号	〃
〃	〃	〃	〃	四十二号	〃
〃	〃	〃	〃	四十三号	〃
〃	〃	〃	〃	四十四号	〃
〃	〃	〃	〃	四十五号	〃
〃	〃	〃	〃	四十六号	〃
〃	〃	〃	〃	四十七号	〃
〃	〃	〃	〃	四十八号	〃
〃	〃	〃	〃	四十九号	〃
〃	〃	〃	〃	五十号	〃
〃	〃	〃	〃	五十一号	〃
〃	〃	〃	〃	五十二号	〃
〃	〃	〃	〃	五十三号	〃
〃	〃	〃	〃	五十四号	〃
〃	〃	〃	〃	五十五号	〃
〃	〃	〃	〃	五十六号	〃
〃	〃	〃	〃	五十七号	〃
〃	〃	〃	〃	五十八号	〃
〃	〃	〃	〃	五十九号	〃
〃	〃	〃	〃	六十号	〃
〃	〃	〃	〃	六十一号	〃
〃	〃	〃	〃	六十二号	〃
〃	〃	〃	〃	六十三号	〃
〃	〃	〃	〃	六十四号	〃
〃	〃	〃	〃	六十五号	〃
〃	〃	〃	〃	六十六号	〃
〃	〃	〃	〃	六十七号	〃
〃	〃	〃	〃	六十八号	〃
〃	〃	〃	〃	六十九号	〃
〃	〃	〃	〃	七十号	〃
〃	〃	〃	〃	七十一号	〃
〃	〃	〃	〃	七十二号	〃
〃	〃	〃	〃	七十三号	〃
〃	〃	〃	〃	七十四号	〃
〃	〃	〃	〃	七十五号	〃
〃	〃	〃	〃	七十六号	〃
〃	〃	〃	〃	七十七号	〃
〃	〃	〃	〃	七十八号	〃
〃	〃	〃	〃	七十九号	〃
〃	〃	〃	〃	八十号	〃
〃	〃	〃	〃	八十一号	〃
〃	〃	〃	〃	八十二号	〃
〃	〃	〃	〃	八十三号	〃
〃	〃	〃	〃	八十四号	〃
〃	〃	〃	〃	八十五号	〃
〃	〃	〃	〃	八十六号	〃
〃	〃	〃	〃	八十七号	〃
〃	〃	〃	〃	八十八号	〃
〃	〃	〃	〃	八十九号	〃
〃	〃	〃	〃	九十号	〃
〃	〃	〃	〃	九十一号	〃
〃	〃	〃	〃	九十二号	〃
〃	〃	〃	〃	九十三号	〃
〃	〃	〃	〃	九十四号	〃
〃	〃	〃	〃	九十五号	〃
〃	〃	〃	〃	九十六号	〃
〃	〃	〃	〃	九十七号	〃
〃	〃	〃	〃	九十八号	〃
〃	〃	〃	〃	九十九号	〃
〃	〃	〃	〃	一百号	〃



